

「サイバーセキュリティ意識・行動強化プログラム（案）」 に関する意見募集の結果の概要

- 実施方法：NISCのWebページ、内閣官房のWebページ、電子政府の総合窓口（e-Gov）に掲載して公募
- 実施期間：2018年12月21日（金）～2019年1月4日（金）
- 意見総数：11者から35件【内訳：4企業・団体から延べ11件、7個人等から延べ24件】

意見内容の内訳：

1. 現状の認識に関する御意見	5件
2. 今後の取組に関する御意見	22件
3. 技術的な修正を含むその他の御意見	8件

注）提出された御意見等は必ずしもこれらに分類されるわけではございませんが、事務局で理解した区分にて計上させていただいております。

御意見を踏まえた修正：全9件

意見募集に対して寄せられた御意見の概要及び御意見に対する考え方①

【修正を行った御意見の例】

御意見の概要	御意見に対する考え方
<p><現状の認識に関する御意見></p> <ul style="list-style-type: none">「ラストワンマイルの解消」の定義が不明瞭である。本文の趣旨は、『サイバーセキュリティに関する教育活動として、エンドユーザとの接点となる「ラストワンマイル」にいたるまで丁寧な展開が必要である。』との意味だと思う。フィッシング対策協議会では、2014年2月25日に「STOP.THINK.CONNECT. Messaging Convention Inc.」と覚書を締結し、以来、STOP. THINK. CONNECT. Japan Chapter（STC普及啓発WG）として活動を行なっている。 <p><今後の取組に関する御意見></p> <ul style="list-style-type: none">National Cyber Security Allianceでは、中小企業におけるセキュリティ教育を手助けするパッケージを公開している。 <p><技術的な修正を含むその他の御意見></p> <ul style="list-style-type: none">西暦と和暦が混在しているため、記載の統一が必要。出典に加筆をしているのであれば、その旨を注釈で記載した方がよい。	<p>御指摘を踏まえて、修正等を行います。</p>

意見募集に対して寄せられた御意見の概要及び御意見に対する考え方②

【参考とさせていただいた御意見の例】

御意見の概要	御意見に対する考え方
<p><現状の認識に関する御意見></p> <ul style="list-style-type: none">• STOP.THINK.CONNECTの公式サイトにて、「資料ダウンロードセンター」を開設し、「ツール・コンテンツ提供」を行なっている。• フィッシング詐欺に関する情報を各媒体で配信している。 <p><今後の取組に関する御意見></p> <ul style="list-style-type: none">• 「Global Cybersecurity Awareness Symposium 2017」において、日本国内におけるサイバーセキュリティ啓発動向について発表を行っている。• 日本に対する脅威情報及びハッキング関連情報を踏まえて、国家レベルの対策を講じることを提案する。• オリンピックボランティアの様に、広く人材を集めるという取組を行っては如何か。• 大規模な銀行他金融機関についてのセキュリティ水準向上のためにNISCに積極的に活動を行っていただきたい。• 政府機関については他国CDNの利用を停止させていく方向での指導・勧告を行っていただきたい。• ソーシャルインパクトボンドを導入し、民間企業にてサイバーセキュリティに関するゲームやアニメを作り、その利用回数に応じ金銭を支払う。• 主に公立学校に所属する教員や一部の学生を対象に、抜き打ちで模擬ウイルスを講じ、その対象者及び組織等に対して模擬ウイルスへの対応も踏まえた普及活動を行う。• ラストワンマイルの普及啓発のためには、統一的な標語を打ち出していくのが良いと思う。• 資料の提供としては、単なるリンク集ではなく、資料をダウンロードできるサイトが望ましい。資料については、すぐに使用できるものが望ましい。• 統一カリキュラムや知識体系の作成もよいと思う。• 地方に講師が少ない件については、講師の名簿化ができるといいと思う。• 中小企業については、IT経営の推進をする経済産業省推進資格のITコーディネーターの活用が有効。• プログラムの内容を各種戦略や方針、関係機関と緊密な関係、整合性の確保と擦り合わせを行ない、ITリテラシースタンダード（ITLS）を中小企業と若年層へ普及させていき、ITパスポート試験の受験を業種を問わず全ての社会人、学生たちへ奨励してはどうか。• 中小企業や若年層、企業内のマネジメント層におけるサイバーセキュリティの意識、行動強化について、「情報セキュリティマネジメント試験」を改組して「情報システムアドミニストレータ試験」を新たに創設してはどうか。• どこまでやれば安心なのか、何が危険なのかがわかりにくい。	<p>「サイバーセキュリティ意識・行動強化プログラム」の実現に向けて具体的な個別施策を推進していきます。具体的な個別施策に関する御意見については、関係省庁にも共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>